

成果指標 検証票

施策名	4-(3)-ア-②	水道分野及び土木建築分野における国際協力の推進						
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
水道分野及び土木建築分野等における研修 受講人数 (水道分野における研修受講人数)	人	13	11			10	110%	目標達成
			計画値					
			12	11	10			
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
			R4	R5	R6			
水道分野及び土木建築分野等における研修 受講人数 (土木建築分野等における研修受講人数)	人	18	17			20	89.5%	目標達成の 見込み
			計画値					
			19	19	20			
担当部課名	企業局総務企画課, 土木建築部土木総務課							
達成状況の説明								
<p>【水道分野】 令和4年度は対面による研修を行い、従来と同様に水道事業の運営等に関するノウハウの移転を行うことができた。</p>								
要因分析								
類型	説明							
⑮ その他個別要因	JICA沖縄では、太平洋島しょ国等の水事情等に即したより実践的に安全な水の確保に向けた研修を実施予定であり、引き続き連携してJICA課題別研修等の研修員を受け入れ、水道分野の技術支援に特化した国際交流・貢献活動に取り組む必要がある。							

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
<p>【水道分野】 引き続き局職員をJICA沖縄の短期専門職としての派遣継続及び現地職員を沖縄へ迎え入れ研修や見学等により、水道施設の維持管理や水質管理、修繕等の指導を継続する。</p>					
関連する主な取組					
施策番号	4-(3)-ア-②	主な取組名	島しょ地域に適合した水道の技術協力	対応課	総務企画課
成果指標への寄与の状況	—				
要因分析	—				
対応案	—				
関連する主な取組					
施策番号	4-(3)-ア-②	主な取組名	途上国等の行政職員へ向けた講義の実施	対応課	土木総務課
成果指標への寄与の状況	途上国等の行政職員へ向けた講義の実施により、本県特有の技術を紹介等ができた。海外での県内建設企業に対する認知度が増すことで、土木建築分野の研修等に対する参加意欲が高まり、受講人数増への寄与が推測される。				
要因分析	令和4年9月6日から11月7日の期間でJICA沖縄が実施した2022年度JICA課題別研修「道路維持管理(C)コース」において、「沖縄の保有技術紹介」ほか3件の講義を実施できたことから、成果の向上につながった。				
対応案	令和4年度実施の研修と同様の研修の実施を今後も継続するとともに、新たな研修等の構築に向けての検討のためにJICA沖縄との連携の強化を図る。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	4-(3)-ア-②	主な取組名	研修等による知見の普及拡大	対応課	土木総務課
成果指標への寄与の状況	知見の普及拡大を目的した研修等の実施により、海外で求められる建設産業のニーズを確認等ができた。海外展開への意欲の高い企業が増えることで、土木建築分野の研修等に対する参加意欲が高まり、受講人数増への寄与が推測される。				
要因分析	令和5年1月26日および27日でJICA沖縄が主催し、本県が共催して実施した沖縄インフラツーリズム研修において、講義、現場視察、ワークショップおよび交流会等を実施できたことから、成果の向上につながった。				
対応案	令和4年度実施の研修と同様の研修の実施を今後も継続するとともに、新たな研修等の構築に向けての検討のために県内建設企業からなる関係団体との連携の強化を図る。				